

# 単元のねらいと子どもの実態等を踏まえ、 系統性を図った単元構想の工夫

## 単元構想の3つの視点

### 単元のねらい

#### 単元のねらいを明確にするには？

- **学習指導要領**を基に単元のねらい（単元の学習内容や育てたい資質・能力）を明確にとらえましょう。  
特に**学年間の系統性**や**単元間の関連性**等をしっかりと把握することが大切です。
- 単元のねらいに迫るために、子どもが意欲的に取り組める学習内容のつながりや関連性・系統性を踏まえて単元の計画を立てましょう。
- 単元や1単位時間のねらいに応じた適切な**言語活動**を設定しましょう。

### 子どもや地域、学校の実態把握

#### 実態を把握するには？

- **各種調査**で学年、学級の状況や子どもたちの特性等をとらえましょう。
- 単元の学習内容に関する**レディネステスト**や**アンケート**等で単元に関わる学習状況や既習事項をつかんで指導に生かしましょう。
- 普段の授業や生活から一人一人の興味・関心や学習への取組、つまずき等を**予測**しておきましょう。
- 地域の自然環境や社会的条件のよさを取り入れるようにしましょう。

### 目指す子どもの姿を明確にした評価計画

#### 目指す子どもの姿をとらえるには？

- 単元の学習内容を押さえた上で、学習後に子どもが何を身に付け、何ができるようになるのかを想定し、具体的に**目指す子どもの姿**をとらえましょう。
- 単元のねらいと関連付けながら、言語活動によって一人一人の子どもに**身に付けさせたい力**を明確にしましょう。
- どんな場面で、どのような方法で評価するのか、あらかじめ設定し、次の指導に生かす評価を計画しましょう。

### ゴールからの構想を

単元構想に当たっては、まず本単元で育成したい資質や能力など、目指す子どもの姿を描いてみましょう。そこからさかのぼることにより、子どもの実態に応じた、必要な指導の手立てが見えてきます。



### 単元計画を立てるときのポイント！！

**教材研究により教材を吟味し、学習内容・方法等を工夫し、単元を構想します。**

#### 【具体的な教材研究】

- ・ 教材の選択
- ・ 教材の解釈、分析
- ・ 教材と身に付けさせたい力の関連付け
- ・ 単元での教材活用（何を、いつ、どこで）
- ・ 他教材との比較 等々



#### 【ねらいに迫るための言語活動】

- ・ 子どもの実態、身に付けさせたい力を明確にする。
- ・ 身に付けさせたい力にふさわしい言語活動を選択する。
- ・ 言語活動を課題解決・課題追究の過程に位置付ける。
- ・ 思考や判断を促す発問や指示を具体化する。

### 学習の連続性を

1時間1時間の授業が細切れになっていることはないでしょうか。子どもの学習の連続性をもたせる計画を立てることで、学習内容の定着とともに、学習意欲の持続や向上を図ることができます。

### 教科書研究を

教科書がある教科の場合、教科書の構成や掲載されている資料、設定されている数値などを本文と関係付けて読み込みましょう。そうすると、学習指導要領との整合性や教材の価値をつかむことができます。

また、異校種の教科書にも目を通し、系統性を確認しましょう。

# 学習の連続性をもたせる単元構想

<中学校社会科「ヨーロッパ人との出会いと全国統一」を例に>

## ◇ 系統性・関連性を把握しましょう

子どもの学びは、学年、単元、単位時間が分断されているわけではなくつながっています。教科の特質にも応じますが、校種、学年、単元等の**系統性**や**関連性**を確認しましょう。

### 小学校で育成した資質・能力、既習事項

<資質・能力>

- ・教科書、資料集、その他の図書から情報を得ること
- ・見学、聞き取りにより深く調べること
- ・ペア、小集団で情報交換や意見交換をすること
- ・調べたり考えたりしたことを新聞やポスターにまとめること
- ・まとめたことをもとに自分（たち）の考えを発信すること

<既習事項>

- ・3人の武将と天下統一  
安土城と織田信長 大阪城と豊臣秀吉 江戸城と徳川家康

小学校の段階で養っている資質・能力や本単元にかかわる既習事項を確認しておきましょう。

教科の特質により、本単元とつながりのある単元との系統性を確認することも必要な場合があります。

### 本単元における目指す子どもの姿

戦国の動乱とヨーロッパ人の来航を関連付け、ヨーロッパ人が日本に及ぼした影響について、多面的・多角的に考察する姿

## ◇ 毎時のつながりをもたせましょう

子どもの疑問を学習課題につなげる導入を工夫し、毎時の学習がつながっていくように計画します。単元の指導計画に当たっては、学習の連続性をもたせるために、**子どもの疑問を予想**すると、問題、資料、発問、時間、学習形態などが設定しやすくなります。

単元の指導計画（総時数7時間）

	主な学習内容・学習課題
①	○ 単元の導入(信長の統一事業) 「信長が安土を楽市・楽座にしたのはなぜか。」 ○ 単元の学習計画 ・ 鉄砲やキリスト教はどこから？ ・ ヨーロッパで何があったのか？ ・ 信長の後継者秀吉の政治とは？ ・ 信長、秀吉の頃の文化は？
②	○ ヨーロッパ人との出会い 「どこから鉄砲やキリスト教が日本に伝わったのか。どんな影響があったのか。」
③	○ ヨーロッパと外の世界 「ヨーロッパ人はどんな目的で世界に進出し、どのような影響を与えたのか。」
④	○ キリスト教世界とルネサンス 「なぜヨーロッパ人が大航海できるようになったのか。そのころのヨーロッパはどんな社会だったのか。」
⑤	○ 秀吉の統一事業
⑥	「秀吉はどのようにして天下を統一したのか。」
⑦	○ 桃山文化 「桃山文化はどんな文化なのかな。」

全国統一と鉄砲、キリスト教、南蛮貿易との関係が分かってきましたが、ヨーロッパ人は日本に来る必要があったのでしょうか？



### 予想される子どもの疑問

鉄砲やキリスト教伝来、南蛮貿易などによる、全国統一への動きや人々の生活の変化は分かったけど、どうしてヨーロッパ人は日本へ来る必要があったのかな？

本時のまとめでは、学習の確認とともに次時の学習につながる疑問をもたせます。そのために、子どもの疑問を予想しておきましょう。

### 次単元や関連する単元の学習

### 高等学校の学習

この計画は、子どもの実態、興味関心を踏まえ連続性をもたせるために、教科書では③④②①⑤⑥⑦の順になっているものを組み替えています。